

【ユニット】 地域医療とチーム医療

【ユニットディレクター】

UD：柴崎 智美（医学教育学）

UD 補佐：米岡 裕美（教養教育） 金田 光平（医学教育センター） 井上 直子（医学教育センター） 林 健（国セ 総合診療内科）

【一般的な目標】

医師は病気の治療や予防のために診療や保健指導などを行い、ひとの生命・生活・人生に深くかかわる職業である。また、医師は医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保する（医師法第1条）という社会的責任がある。少子高齢化や医療費増大、人口減少社会を迎える地域社会・医療の課題を解決するために必要な基本的な知識、技能、態度、価値観を身につけることを通して、将来地域・社会で役に立つ医師になるための素養を育む。

【具体的な目標】

ひとと関わる高度な知識や技術を持つ専門職である医師として、他の専門職や地域住民と連携・協働できる価値観を身につける。ひとをケアするとはどのようなことか、ひとの一生におこる生老病死や障害について考え、「コミュニケーション」及び「ケアし・ケアされる自分」を見つめ直す。特に、我が国の地域社会の現状や課題を通して、他の専門職や地域住民との連携の意義と重要性を考える。さらに、埼玉県の地域医療や将来地域で必要となる医療について自らの考えを述べるができるようになることを目指している。

1. 我が国の地域医療の現状と課題、今後の方策について説明できる。 マイルストーン 9-(1)
2. 医師の責務と健康の定義を理解し、自分の考えを説明できる。
3. ひとの価値観の多様性について自ら考え、多様な価値観を受け入れるとはどのようなことか説明できる。 マイルストーン 1-(2)
4. ヒューマンケアの担い手としてケアすること、連携と協働について説明できる。
5. 生老病死障害とは何か、その当事者や家族の思いやニーズを知り、援助の在り方について説明できる。
6. ヒューマンケアの概念が登場した社会的背景と制度的背景について説明できる。
7. 病める人々の心と身体の痛みと価値観を理解するために必要な態度、価値観を身につける。
8. 老化と死生観について基本的知識を有し、自らの考えを述べるができる。 マイルストーン 2-(5)
9. 他の人と意見が異なることを肯定的に受け入れ、その違いの意味を表現することができる。
10. 地域医療に関心を持ち、地域で役に立つ医師になるための方法について自分なりに考え意見を述べるができる。
11. 授業を無断欠席しないなど、医学生としての規範を理解し、守ろうとする姿勢ができている。 マイルストーン 1-(5)

【学習方法】

このユニットでは、学内外の実践者を講師として迎え、医師としての基本的な考え方や知識を学ぶだけでなく、様々な学習場面での知識や考え方を問う内容を扱う。遠隔の形態であっても、その時間に参加し、講義を時間通りに受講することを基本とする。受講時には、主体的に参加し、当事者の声や具体的な事例について、ひとりひとりの学生が自分の頭で対象とする Life（生命、生活、人生）を想像し、考え、自分なりに理解することを求める。質問等は、授業時間内に受け付ける。

講義の事前学習や講義中または講義終了後の理解度を確認するために WebClass を用いることがある

ので、講義の日には WebClass にアクセスできるよう PC や ipad、iphone などを持参しておくこと。

また、臨床入門、臨床推論、行動科学と医療倫理といった良医への道コースの他ユニットでの体験や学びとともに、本ユニットでの学びを統合し、理解するよう努めて欲しい。

1. 多様な個人の意見を聴く、意見交換することを目的としてグループワークを行う。
2. 講義に参加し、自らメモやノートをとる。
3. 講義中に紹介された書籍等に目を通す。
4. WebClass 内のヒューマンケア論 DVD を視聴する。
5. 医師になる上で必須の知識（法律や術語）は理解し覚える。
6. 本ユニットが評価を担当しているマイルストーンについて説明できるように復習する。
7. ユニットの最初の授業では、受講の仕方、ユニット内のルールなどについて説明するので、必ず出席すること。

質問等は、授業時間内、または出席課題の用紙に記載する事によって、UD, UD 補佐が講義担当者に回答を依頼する。

【評価方法】

本ユニットは良医になることを目指して、授業に参加し、講義をしっかりと聴き、課題に取り組むことを求めている。そのため、医師を目指す医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合には、評価の対象とせず、不合格とする。

本ユニットは演習ユニットのため、75%以上の出席を求める。やむを得ない理由以外で出席不良の場合には、評価の対象とならないので、十分注意すること。毎回の出席は原則授業中に配付する出席課題の提出をもって出席を認める。出席課題にひと言しか書かれていないなど、出席したと認められない場合は、欠席として扱う。

ユニットの最後の講義で、ユニット内試験を行う。ユニット内試験は、WebClass を用いて行う。ユニットの評価は、ユニット内試験の結果と講義内で行われるグループワークの参加態度、レポートや毎回の出席課題の提出状況、提出内容で総合的に評価する。必要がある場合には再評価を行う。マイルストーン評価は、該当する講義の出席課題、レポート、ユニット内試験で評価を行う。マイルストーン評価で不合格の場合には、補習を行い再評価する。

【教科書】

- ◆ 保健・医療・福祉のための専門職連携教育プログラム 2019 年 ミネルヴァ書房

【参考書】

- ◆ 国試・改訂コアカリ対応 地域医療学入門（診断と治療社）第2版（2024年）
- ◆ 新しい IPW を学ぼう―利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携―埼玉県立大学編 中央法規出版
- ◆ ソーシャルアクション！あなたが社会を変えよう！-はじめの一步を踏み出すための入門書-ミネルヴァ書房
- ◆ よくわかる医療社会学 中川輝彦・黒田浩一郎編著 ミネルヴァ書房
- ◆ 新生児学入門 第3版 仁志田博司著 医学書院
- ◆ 病院で死ぬということ 山崎章郎著 文春文庫

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
地域01	04月21日	(火)	4	地域医療と健康	柴崎（医学教育学）

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
地域02	04月21日	(火)	5	健康の概念と医師の責務	柴崎 (医学教育学)
地域03	04月27日	(月)	3	医学を学ぶ	江利川 (医療政策学) 金田 (医学教育C)
地域04	05月12日	(火)	3	埼玉県地域医療の現状	金田 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 井上 (医学教育C)
地域05	05月27日	(水)	4	群馬大学との共同学習Ⅰ	金田 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 井上 (医学教育C)
地域06	05月27日	(水)	5	群馬大学との共同学習Ⅱ	金田 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 井上 (医学教育C) 齋木 (国セ地域医療科)
地域07	06月26日	(金)	6	将来地域で必要となる医療	柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C) 井上 (医学教育C)
地域08	06月03日	(水)	4	群馬大学との共同学習Ⅰ	金田 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 井上 (医学教育C)
地域09	06月03日	(水)	5	群馬大学との共同学習Ⅱ	金田 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 井上 (医学教育C) 齋木 (国セ地域医療科)
地域10	06月05日	(金)	3	ひとと関わること	米岡 (教養教育) 柴崎 (医学教育学)
地域11	06月08日	(月)	3	周産期医療の社会的側面について	側島 (総セ新生児科) 金田 (医学教育C)
地域12	06月15日	(月)	3	命の大切さを考える	高橋 (医療人育成支援C)
地域13	06月24日	(水)	4	群馬大学との共同学習Ⅲ	金田 (医学教育C) 井上 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
地域14	06月24日	(水)	5	群馬大学との共同学習Ⅲ	金田 (医学教育C) 井上 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
地域15	06月26日	(金)	4	ヒューマンケア1(ケアの本質)	新井 (立正大) 柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C)
地域16	06月26日	(金)	5	ヒューマンケア2(連携と協働)	新井 (立正大) 柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C)
地域17	07月01日	(水)	4	群馬大学との共同学習Ⅳ	金田 (医学教育C) 井上 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
地域18	07月01日	(水)	5	群馬大学との共同学習Ⅳ	金田 (医学教育C) 井上 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
地域19	10月09日	(金)	3	障害とともに1(発達障害のケア)	鈴木 (光の家) 金田 (医学教育C)
地域20	11月09日	(月)	5	EBMとNBM	柴崎 (医学教育学)
地域21	11月10日	(火)	5	老いを見つめる1	柴崎 (医学教育学)
地域22	11月24日	(火)	2	老いを見つめる2	柴崎 (医学教育学)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
地域23	12月10日	(木)	4	緩和ケア1(死生観)	儀賀 (総セ呼吸器外科) 柴崎 (医学教育学)
地域24	12月10日	(木)	5	緩和ケア2(当事者からのメッセージ)	儀賀 (総セ呼吸器外科) 柴崎 (医学教育学)
地域25	12月18日	(金)	4	障害とともに2	新井 (立正大) 金田 (医学教育C)
地域26	12月18日	(金)	5	障害とともに3	新井 (立正大) 金田 (医学教育C)
地域27	12月22日	(火)	5	まとめ(ユニット内テスト)	金田 (医学教育C) 井上 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学) 米岡 (教養教育)

【備 考】

本ユニットは彩の国連携力育成プロジェクトによる彩の国連携科目「ヒューマンケア論」該当科目である。また、埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業の教育プログラム1に該当する。

【令和4年度版コアカリ対応】

PR-01-01-01 患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する(利益相反等)。

PR-01-01-02 社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。

PR-01-02-01 自分自身の限界を適切に認識し行動する。

PR-02-01-01 患者を含めた他者に思いやりをもって接する。

PR-02-02-01 自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。

PR-02-02-02 他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものかを考え、意識して行動する。

PR-02-03-01 医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。

PR-02-03-02 礼儀正しく振る舞う。

PR-03-01-02 答えのない問いについて考え続ける。

PR-04-01-02 多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。

GE-01-04-01 根拠に基づいた医療(EBM)の5つのステップを列挙できる。

GE-01-04-02 PICO(PECO)を用いた問題の定式化ができる。

GE-01-04-03 データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。

GE-01-04-04 得られたエビデンスの批判的吟味ができる。

GE-01-04-05 診療ガイドラインの種類、推奨の強さ、使用上の注意を理解している。

GE-01-04-06 患者の個別性や状況を考慮してエビデンスの適用について考えることができる。

GE-01-06-01 緩和ケアの概念を理解した上で、全人的苦痛(身体的苦痛、心理社会的苦痛、スピリチュアルペイン)を評価できる。

GE-02-02-01 地域(都会・郊外・へき地・離島を含む)の実情に応じた医療と医師の偏在(地域、診療科及び臨床・非臨床)の現状の概要を理解している。

GE-02-02-04 地域の量的指標(人口構成等)や質的情報(地理的・歴史的・経済的・文化的背景)を収集し、地域の健康課題を説明できる。

GE-02-02-05 地域の住民や医療を提供する上で必要となる専門職と協働した地域の健康増進活動の意義の概要を理解している。

GE-02-04-01 在宅医療の現状と適応を踏まえて、その必要性や課題の概要を理解している。

GE-02-04-02 在宅における緩和ケアや人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題の概要を理解している。

GE-03-05-01 老化に伴う臓器や身体機能の変化、それに伴う生理的变化、老化機構について理解してい

る。

GE-03-05-02 高齢者総合機能評価を実施できる。

GE-03-05-05 国際生活機能分類について理解している。

GE-03-05-07 日常生活動作に応じた介護と環境整備について理解している。

GE-03-06-01 死の概念と定義や生物学的な個体の死について理解している。

GE-03-06-02 死に至る身体と心の過程の知識を活用して、患者や家族がもつ死生観を配慮できる。

GE-03-06-03 人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）について理解している。

GE-03-06-06 悲嘆のケア（グリーフケア）について理解している。

GE-04-01-01 患者の健康観や病いに対する価値観を理解するうえで、健康に関わる知識（定義、健康寿命、健康生成論、ウェルビーイング、QOL、SDH、ICF、UHC 等）を活用し、健康問題に対する包括的アプローチが実践できる。

GE-04-01-02 患者が受療に至るまでにどのような過程があるかを生活者の視点から説明できる。

GE-04-02-01 人の言動の意味をその人の人生史・生活史や社会関係の文脈の中において検討できる。

GE-04-02-03 文化人類学・社会学(主に医療人類学・医療社会学)の理論や概念を用いて、患者の判断や行動に関わる諸事象を説明できる。

S0-01-01-02 地域共生社会の概念を理解している。

S0-01-01-03 予防の段階とそれらの戦略を理解している。

S0-04-01-02 バリアフリー等の障害と社会環境に関連する概念を理解した行動をとることができる。

S0-04-02-01 女性や LGBTQ に対する差別等のジェンダー不平等をなくすために積極的な行動をとることができる。